

テーマ

我が国企業の財務管理の諸特徴

適用
分野

経営財務、財務政策、
経営管理、企業体制

研究
名称

日本企業の財務行動

氏名
所属

馬場大治 教授
経営学部 経営学科

内容

●特徴

財務管理における我が国企業の諸特徴を、

- ①実証的に明らかにするのみならず、
- ②その背後にある論理を比較的新しいコーポレート・ファイナンスの理論によって説明することを試みる。

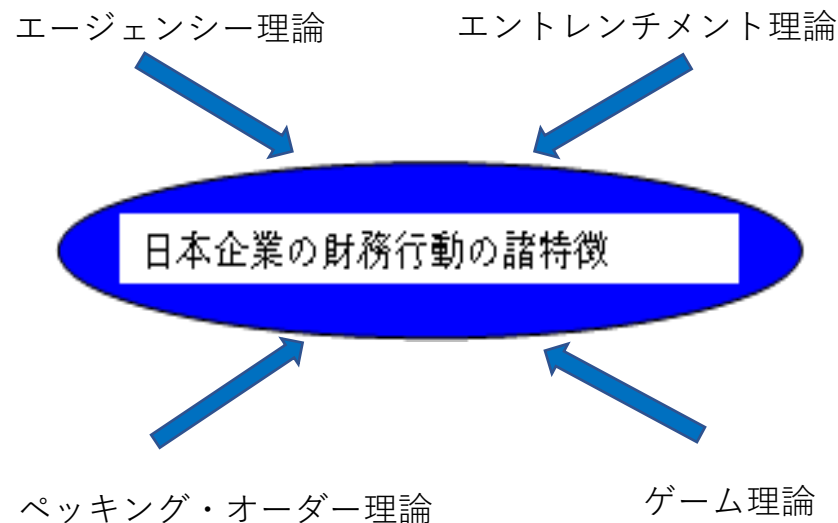
●研究内容

従来、日本企業の資金調達などの財務行動は、一般に

- (1)メインバンク制と高い負債比率（借入金中心）
- (2)安定的な配当政策（内部留保重視）
- (3)現金支出コストのみに注目した独特の資本コスト概念
- (4)株式持合（企業系列、安定株主偏重）

といった諸特徴を備えているといわれてきた。しかしながら、資本市場のグローバル化や諸規制の撤廃といった近年の劇的な環境変化によって、それらの諸特徴も劇的に変化してきているといわれている。このような財務行動の日本的な諸特徴やその変化に

関して、単に制度的な説明のみで満足されるべきではなく、より一般的なコーポレート・ファイナンスの理論によってその背後にある論理が合理的に説明されるべきである。その際、用いられるべき理論は、従来、通説的であった最適財務決定の理論よりもむしろ、エージェンシー理論やペッキング・オーダー理論、エントレンチメント理論といった市場の不完全性を出発点とする理論であろう。



キーワード

財務行動、日本的経営、エージェンシー理論、ペッキング・オーダー理論、エントレンチメント理論、ゲーム理論

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究